

環 境 委 員 会 資 料

平 成 2 6 年 1 月 2 9 日

【所管事務の調査（報告）】

東扇島総合物流拠点地区への輸送力増強について

交 通 局

## 東扇島総合物流拠点地区への輸送力増強について

## 東扇島循環線の輸送力増強計画の概要

- ・ 平成25年2月から26年2月の間に、日本郵便株式会社等各企業が順次、進出予定のため、**就業者の増加に合わせて3段階のダイヤ改正で対応**
- ・ 朝ラッシュ時間帯について、**増加する就業者数約1,800人の約60%(約1,080人)が9時の出社時間帯(始発～8:00)に集中すると想定**
- ・ **バス1両当たりの利用者を45人と想定**し、朝ラッシュ時の運行本数を現行11回から38回～27回増回(増強輸送力1,215人分)
- ・ 退社時における運行ダイヤについては、各企業への利用動向等調査結果を踏まえた効率的なダイヤ作成により対応
- ・ このため**17両増車**するとともに、**正規運転手13人を増員(平成25年10月に新規採用)** ※増車内訳 水江町線から2両、県営埋立線から8両、24年度購入車両1両、予備車両1両、25年度購入車両5両

## 実施状況

## ○ステップ1 平成25年2月1日(金)～

- ・ 就業者106人、うちバス利用者64人を想定
- ・ 朝ラッシュ時間帯(始発～8時)に4回増回(各停)
- ・ 終業時間帯(17時～20時)に3回増回  
※水江町線のダイヤ改正により生み出した輸送力(車両2両)で対応

朝ラッシュ時間帯の1便当たりの利用状況は41人で、ほぼ想定どおり

## ○ステップ2 平成25年5月1日(水)～

- ・ 就業者1,085人、うちバス利用者651人を想定
- ・ 朝ラッシュ時間帯(始発～8時)に14回増回(各停4回、急行10回) ※当初予定15回
- ・ 終業時間帯(17時～20時)に14回増回
- ・ 県営埋立線を臨港バスに委譲  
※委譲する県営埋立線8両、24年度購入車両1両、予備車両1両の計10両で対応

朝ラッシュ時間帯の1便当たりの利用者は36人で想定より2割程度少なく、輸送力に余裕あり

(利用が想定より少ない理由)

- ・ 日本郵便側の採用計画に遅れが出ており、約100人少ない。  
(就業者数800人→700人)
- ・ 日本郵便側の勤務形態が3交代制で、当初想定していた朝ラッシュ時間帯に集中せず  
※日勤(9時始業)約4割、夜勤(13時始業)約2割、深夜勤(20時始業)約4割

## 実施状況を踏まえた今後の計画

日本郵便側の採用の遅れや3交代制による勤務形態により、ステップ2において輸送力に余裕があることから、ステップ3では、当初計画より少なめの増回とし、平成26年度以降はステップ4として、日本郵便側の今後の就業状況等に合わせて、弾力的な増回を図る。

## ○ステップ3 平成26年2月16日(日)～ \*日本郵便側の就業時期に合わせて実施

【当初計画】

- ・ 就業者603人、うちバス利用者361人を想定
- ・ 朝ラッシュ時間帯(始発～8時)に8回増回

【実行計画】

- ・ 朝ラッシュ時間帯の利用者数を、当初計画就業者数の603人と採用が遅れている100人の計703人の約4割、280人と見込む。(日本郵便側へのアンケート結果による)
- ・ その輸送力として、当初計画における1便当たりの利用者数45人に対するステップ2における利用者数36人の9人分の余裕分162人(9人×18回)と、ステップ3における輸送力135人(45人×3回)の計297人で対応
- ・ 朝ラッシュ時間帯(始発～8時11分)については3回増回で対応可能(総回数34回)
- ・ 終業時間帯(17時～20時)に3回増回、21時台にも1回増回
- ・ 25年度購入車両5両のうち3両で対応(残る2両はステップ4で使用)

## ○ステップ4 平成26年度以降

- ・ 日本郵便側の採用計画に遅れが出ているが、今後も継続して募集を実施予定
- ・ その就業状況などを踏まえて、残りの2両を使用し、弾力的に増回(最大6回まで)